

2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月8日

上場会社名 イハラサイエンス株式会社  
 コード番号 5999 URL <http://www.ihara-sc.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営統轄室長  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 長岡 敏  
 (氏名) 中川路 豊  
 TEL 03-6721-6988

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	17,973	21.0	3,748	12.6	4,199	20.1	3,068	22.1
2022年3月期第3四半期	14,851	43.3	3,328	104.6	3,498	111.0	2,512	81.6

(注)包括利益 2023年3月期第3四半期 3,188百万円 (26.0%) 2022年3月期第3四半期 2,531百万円 (76.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	284.86	283.03
2022年3月期第3四半期	235.12	233.51

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	29,719	24,714	82.6	2,277.83
2022年3月期	27,630	22,179	79.7	2,047.49

(参考)自己資本 2023年3月期第3四半期 24,551百万円 2022年3月期 22,033百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	63.00	63.00
2023年3月期	—	—	—		
2023年3月期(予想)				65.00	65.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	6.8	4,400	0.5	4,550	△1.8	3,200	△3.4	298.91

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	14,000,000 株	2022年3月期	14,000,000 株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	3,221,489 株	2022年3月期	3,238,630 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	10,771,979 株	2022年3月期3Q	10,687,215 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

記載している予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、業績の変化により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、記載している予想に関する事項は2ページを参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済及び世界経済は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、経済活動の正常化に向けた動きが見られたものの、世界的な金融引き締め、ウクライナ情勢に起因するエネルギー価格や原材料価格の高騰により、景気回復のテンポが鈍化しました。

このような経済環境のもと、当社グループは配管を科学し、「お客様の望む時に、望むモノを、望む形と望むコストで」お届けすることに全力を注ぎ、「最適配管システムで世界のお客様に感動を」を合言葉に「感動創造企業」の実現に向けてグループ一丸となって取り組んでまいりました。

販売面では、スマホ、PC向けの半導体需要の後退があるものの半導体関連メーカーの設備投資が堅調に推移し、また、建設機械及び工作機械の需要回復によって、当社グループ製品の受注は増加しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は179億73百万円（前年同四半期比21.0%増）となり、営業利益は37億48百万円（同12.6%増）、経常利益は41億99百万円（同20.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は30億68百万円（同22.1%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

当社は製品構成から以下2事業部を報告セグメントとしております。

#### (C P事業部)

半導体及び液晶製造装置市場向け、食品・医療市場向けに、クリーンな環境に対応した継手、バルブ、配管ユニット製品等を販売・生産していますが、半導体業界における堅調な設備投資により受注が増え、売上高は118億23百万円（前年同期比28.3%増）となり、セグメント利益は38億82百万円（同17.5%増）となりました。

#### (G P事業部)

建設機械、工作機械、車両、船舶、化学プラント等の一般産業市場向けの継手、バルブ、配管システム等を販売・生産していますが、建設機械市場、工作機械市場における需要回復により受注が増え、売上高は61億32百万円（前年同期比9.6%増）となりましたが、原材料価格の高騰などにより、セグメント利益は12億7百万円（同8.3%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ20億89百万円増加し、297億19百万円となりました。これは、棚卸資産が11億39百万円増加し、有形固定資産が5億43百万円増加したことなどによるものです。

#### (負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ4億46百万円減少し、50億5百万円となりました。これは、短期借入金が2億3百万円減少したことなどによるものです。

#### (純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ25億35百万円増加し、247億14百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益30億68百万円と配当金支払い6億77百万円により利益剰余金が23億91百万円増加したことなどによるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末79.7%から当第3四半期連結会計期間末82.6%となり、1株当たり純資産額は前連結会計年度末2,047円49銭から当第3四半期連結会計期間末2,277円83銭となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第4四半期以降における、半導体業界における設備投資の縮小、原材料価格の高騰、金融引き締めによる景気後退などが将来の業績に対する大きな懸念材料となっています。

2023年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2022年5月12日に公表した予想数値に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,813	7,491
受取手形及び売掛金	5,213	5,234
電子記録債権	1,139	556
商品及び製品	750	1,067
仕掛品	2,000	2,233
原材料及び貯蔵品	2,234	2,822
その他	464	427
流動資産合計	18,615	19,834
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,960	3,161
機械装置及び運搬具（純額）	1,048	1,184
土地	2,386	2,386
建設仮勘定	226	416
その他（純額）	90	107
有形固定資産合計	6,713	7,256
無形固定資産	444	445
投資その他の資産		
投資有価証券	1,293	1,519
長期貸付金	3	2
繰延税金資産	362	394
その他	217	287
貸倒引当金	△20	△20
投資その他の資産合計	1,856	2,183
固定資産合計	9,015	9,885
資産合計	27,630	29,719

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,451	1,434
短期借入金	437	234
未払金	502	535
未払法人税等	972	503
賞与引当金	—	191
役員賞与引当金	39	—
その他	238	323
流動負債合計	3,641	3,222
固定負債		
長期借入金	103	77
退職給付に係る負債	1,192	1,191
長期未払金	278	278
資産除去債務	71	71
長期預り保証金	162	163
固定負債合計	1,809	1,782
負債合計	5,450	5,005
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,564	1,564
資本剰余金	618	637
利益剰余金	22,107	24,497
自己株式	△2,565	△2,551
株主資本合計	21,724	24,147
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	226	238
為替換算調整勘定	83	165
その他の包括利益累計額合計	309	404
新株予約権	116	107
非支配株主持分	29	54
純資産合計	22,179	24,714
負債純資産合計	27,630	29,719

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	14,851	17,973
売上原価	10,001	12,534
売上総利益	4,849	5,438
販売費及び一般管理費	1,521	1,689
営業利益	3,328	3,748
営業外収益		
受取利息及び配当金	21	31
為替差益	66	208
持分法による投資利益	75	206
その他	27	19
営業外収益合計	192	465
営業外費用		
支払利息	5	4
その他	15	10
営業外費用合計	21	14
経常利益	3,498	4,199
税金等調整前四半期純利益	3,498	4,199
法人税、住民税及び事業税	1,075	1,146
法人税等調整額	△94	△37
法人税等合計	981	1,109
四半期純利益	2,517	3,090
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	21
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,512	3,068

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	2,517	3,090
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13	11
為替換算調整勘定	21	102
持分法適用会社に対する持分相当額	△21	△16
その他の包括利益合計	13	98
四半期包括利益	2,531	3,188
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,525	3,162
非支配株主に係る四半期包括利益	5	25



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	CP事業部	GP事業部	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,189	5,544	14,734	117	14,851
セグメント間の内部売上 高又は振替高	22	50	72	—	72
計	9,212	5,594	14,807	117	14,924
セグメント利益	3,304	1,317	4,621	55	4,676

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない商品売上及び賃貸不動産売上であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,621
「その他」の区分の利益	55
セグメント間取引消去	△47
全社費用(注)	△1,301
四半期連結損益計算書の営業利益	3,328

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

## II 当第3四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	CP事業部	GP事業部	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,794	6,060	17,854	118	17,973
セグメント間の内部売上 高又は振替高	28	72	101	—	101
計	11,823	6,132	17,955	118	18,074
セグメント利益	3,882	1,207	5,090	53	5,143

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない商品売上及び賃貸不動産売上であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,090
「その他」の区分の利益	53
セグメント間取引消去	△5
全社費用(注)	△1,389
四半期連結損益計算書の営業利益	3,748

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。